

## I. 広東省

### 1 広州市でアフリカ豚コレラを確認

●22日、中国農業農村部は、広州市黄埔区の養豚場でアフリカ豚コレラが確認されたと発表した。同養豚場の豚6,027頭のうち30頭が発症し、9頭が死んだ。現地では規定に従って、豚の殺処分、無害化の処理、消毒等が行われた（24日付「南方日報」14面）。

### 2 肇慶市で自動運転の公道試験を初認可

●24日、肇慶市で自動運転の公道試験が初認可され、自動運転車の公道試験用ナンバープレートが交付された。交付を受けたのは、香港企業の裏動智駕公司（英語名：Auto X）。広東省ではテンセントに続き2件目となる（25日付「南方日報」11面）。

### 3 恵州市でアフリカ豚コレラを確認

●25日、中国農業農村部は、恵州市でアフリカ豚コレラの感染が確認されたと発表した。同養豚場の豚90頭のうち、11頭が発症し、11頭が死んだ。現地では規定に従って、豚の殺処分、無害化の処理、消毒等が行われた（26日付「南方日報」13面）。

### 4 汕頭—汕尾間の高速鉄道（汕汕鉄道）が着工

●汕頭駅—汕尾駅間の全長162.8kmの高速鉄道が着工した。総工費は264.6億元、工期は4年。停車駅は、汕頭駅（汕頭市）、潮南駅（汕頭市）、恵来駅（揭陽市）、陸豊東駅（汕尾市）、汕尾駅（汕尾市）の5つとなる。汕頭駅と汕尾駅はすでにあり、潮南駅、恵来駅、陸豊東駅は新たに新設される。最高時速は350kmとなる見通し（27日付「南方日報」1面）。

### 5 韶関市党委書記に李紅軍氏

●広東省党委員会、李紅軍氏を韶関市党委書記に任命した（29日付「南方日報」1面）。

（当館注）李紅軍氏は広東省の茂名市党委書記から異動。

## II. 広州市

### 1 ラッシュ時のタクシーの勤務交代を禁止

●広州市はこのほど、ラッシュ時にタクシー運転手がシフト交代することを禁止する方針を決定し、業界に通知した。また、タクシー運転手がシフト交代の為に市内を移動中には「サービス休止中」の表示を掲げなければならない、違反者には500元～1,000元の罰金が科される（26日付「広州日報」5面）。

## 2 ファーウェイ（華為）が白雲区にスマートシティを構想

●28日、白雲区人民政府とファーウェイは共同で、広州スマートシティエコロジー協力フォーラムを主催・開催した。ファーウェイの担当者はフォーラムで、全国トップクラスのファーウェイスマートシティを白雲区に作り上げたいと述べた（29日付「南方都市报」11面）。

## III. 深セン市

### 1 深セン市とドバイ市が友好都市を締結

●24日、陳如桂・深セン市長とバセット（巴西特）・アラブ首長国連邦ドバイ市執行委員会秘書長が深セン市で、深セン市とドバイ市の友好都市締結の署名を行った（25日付「深セン特区報」1面）。

### 2 2018年のファーウェイ（華為）のスマートフォン出荷台数が2億台を突破

●25日、ファーウェイの発表によれば、2018年の1年間のファーウェイのスマートフォン出荷台数が2億台を突破した。2010年は300万台であり、この8年間で66倍に増加した。ファーウェイは2018年4月～9月までのグローバル市場におけるスマートフォンの出荷額ベースの市場シェアで14.6%を占めた（26日付「深セン特区報」3面）。

## IV. 福建省

特になし。

## V. 広西チワン族自治区

特になし。

## VI. 海南省

### 1 劉賜貴・海南省党委書記が華潤集團董事長一行と会見

●25日、劉賜貴・海南省党委書記が傅育寧・華潤集團董事長一行と会見した。

双方は、医療、ハイテク技術、熱帯農業、美しい農村建設等の方面での協力、農村振興と一帯一路建設の協力、海南自由貿易試験区の積極的な促進と中国の特色ある自由貿易港建設等について話し合った（26日付「海南日報」2面）。

（当館注）華潤集団は、香港に本社を置く中国国務院直属の複合企業で、セメント、ガスから生活関連事業まで手掛けている。

（了）